

大阪市を守れ！大阪・市民交流会

写真は9月1日夕方NHK「ニュースほっと関西」。テレビをつけると、「大阪都構想」と平松元市長らの字幕。愛用のiPadをとりだし、慌てて写真に収めた。

「反対運動を本格化させることを表明」「大阪市民にとって得なことは一つもない」「本来政令市が持っている一番力があって自分たちの裁量で使えるお金がまずなくなる」などの字幕に注目した。

「大阪市を守れ！大阪・市民交流会」の記者会見である。3日に大阪市会本会議で大阪市廃止・特別区設置の協定書が採決されるのを前に、市民交流会の活動をアピールした。私も設立当初から会のメンバーである。会の共同代表は、平松邦夫・元大阪市長と「浪速の経済人」中野雅司さん。お二人から、多くのことを学んでいる。

市民交流会は7月下旬に結成され、統一ロゴや幟を作り、宣伝カーなどで街頭宣伝をしている。会の位置づけとして「大阪・市民交流会は、市民が自主的かつ自発的に行う大阪市廃止分割の反対をする任意の団体です。そこに参加する人は、大阪市が廃止され、分割することに反対することが条件で、どの団体に属していようが関与しません。また、交流会は、大阪市廃止・分割に反対する団体とともに行動することもあります」などと書かれている。

事務所は谷町2丁目の「ターネンビル」2階にある。広いスペースの会議室で、各種企画が開催されている。地下鉄の駅も近く、市民が交流・活動するのに貴重な「拠点」となっている。私もよく利用させてもらっている。

私にできることはないかと考え、「お盆に語ろうかい」という独自企画を呼びかけた。大阪市廃止・特別区設置について、さくばらんに語りあう会だ。猛暑の15日午後開催した第1回は、フェイスブックで呼びかけただけだが、なんと18名もの参加があった。2時間半余り、大学のゼミナールを思い出しながら、参加者と語りあった。そのなかで、テレビ局への働きかけなど、具体的な行動も提案され、準備が進められている。29日の第2回も、同じく18名の参加があり、ユーチューブでも放映された。

写真下は淀屋橋に掲げられた市民交流会の色とりどりの幟。9月3日午後、大阪市会で大阪市廃止「協定書」採決が行われたときだ。住民投票に向けて奮闘努力したい。

(2020年9月5日)

